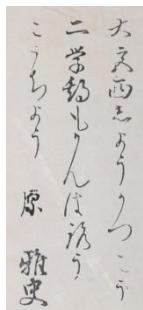


## 令和7年度2学期 児童朝会 講話

■令和7年 9月1日 №.13 「かな文字 6」  
今日から9月です。が、大変暑い日が続きます。  
外に出る時は、帽子をかぶり、こまめに水を飲む  
など熱中症に十分注意をしてくださいね。

さて、先週のお題一つ目は右の草書体を読もうでした。こちらは多くのお友だちが答えを言いに来てくれました。これは「大宮西しようがつこう 二学期もがんばろう こうちよう 原 雅史」と書きました。



言いにきてくれたお友だち、ありがとうございました。2問目は「今ではひらがなは男女関係なく使っています。女人専用文字だったひらがなが、どうして男の人も使うようになったのでしょうか？」でした。なかなか難しかったようですね。少ないながらも、がんばって書いてくれたお友だち、ありがとうございました。

さて、平安時代、文字は男の人用の漢字とカタカナしかなくて、女人も文字を書きたいということで、漢字の草書体からひらがなができたのでした。だからひらがなは女文字ともよばれたのでした。そしてこのひらがなの発明は、女人が使う以外の思わぬ効果もうみだしたのです。それは、カタカナと同じで人が考えたり、心に思ったことを書くのにとても便利だったということです。漢字でも書けますが、日本の言葉に合わないことが多く不便でした。例えば、かなしいは、今でこそ「悲しい」と書きますが、昔の万葉仮名では「加奈之以」と書きました。なんか悲しいイメージがないですね。うれしいも「宇礼之以」と書き、カタカナで「ウレシイ」と書く方法もありましたが、ひらがなの方がわかりやすくて大人気の文字となりました。

さて、このひらがなのうまれた平安時代に人気があった本の種類はなんでしょう？ 1 絵本 2 図鑑 3 物語 4 日記 実は日記が一番人気がありました。今でもブログや、インスタで自分の身の回り

のことをアップすることが流行っていますが、おなじですね。ただし、当時日記は男の人が書くものでした。もちろん全部漢字で書かれており、いまいち感情や気持ちが伝わりにくく、第一読みにくいものでした。

そんなときに、有名な男の作家「紀貫之」が変わった日記を出しました。何と、男の人ですが、ひらがなを使って日記を書いたのです。書き出しは「男もする日記というものを、女もしてみむとてするなり」です。意味は「男もしている日記を女の私も書いてみるわ。」です。なぜ男の「紀貫之が」が女文字のひらがなで日記を書いたのでしょうか？ 周りの人と聞き合ってみてください。

それは、自分の気持ちを書き表しやすいひらがなで日記を書きたかったからでした。しかし、ひらがなは女人専用の文字だし、どうしよう…。「そうだ、女人のふりをして書けば、女文字のひらがなを使えるぞ。」

この日記は大流行しました。作者が紀貫之というのもすぐにばれてしまい「男でもひらがなを使ってもいいんだ」というきっかけになりました。

逆に女人が漢字をどうやって使いはじめたのかというの、はっきりしていません。割と昔から自分で漢字を勉強して使っていたようです。男人がひらがなを使うより早かったと言われています。

さて、1年生で習うひらがなは全部で何文字でしょうか？ あ～んまでで46文字です。さてひらがなは本当に46文字でしょうか？

ひらがなができたころの「平安時代」にはなんと300文字以上あったそうです。300 - 46 = 254文字は今では使われなくなったのです。どんなひらがながなくなったのでしょうか？

こんな文字見たことがありますか？

「ゐ」

使われなくなり、消えたひらがなの1つです。いった何と読むのかな？

今でこそ、46文字のひらがなですが、昔は「ゐ」

など300以上のひらがながありました。なぜそんなにあったのでしょうか？また消えた254文字はどうなったのでしょうか？だれが、いつ、どうやって消したのでしょうか？これを今週のお題とします。

今日も最後まで聞いていただき、ありがとうございました。良き夏休みをお過ごしください。